A表現（器楽）ア、イ（ア）（イ）、ウ（ア）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 音楽ⅠレポートNo. | | 曲の特徴を生かして  リコーダーで演奏しよう | | 教科書  『MOUSA１』 | | P.62 リコーダー  P.64 天国と地獄、C-a-f-f-e-e | | |
| 提出日 | 月　　　日 | 氏名 |  | 得点 |  | | 評価 |  |

1. **「リコーダー」（教P.62）を読み、次の問いに答えよう。**
2. **次の文章を完成させよう。［知］**
3. **チューニングについての説明として正しいものを次から２つ選ぼう。［知］**

ア　鍵盤楽器などで基準とする音を鳴らし、それをピッチに合わせる。

イ　演奏の前にはあらかじめ楽器をよく冷やしておく。

ウ　楽器が温まるとピッチが低くなる。

エ　ピッチの調整は菅の長さを変えることによって行う。

1. **次の文章を完成させよう。［知］**
2. **リコーダーを演奏しよう。［主］**
   1. **リコーダーの奏法の動画（教P.62 二次元コード）を視聴しよう。**
   2. **「タンギング」（教P.63）を読み、基準とする音で下の譜例を参照しながら「tu」と「du」の発音を用いたタンギングで演奏し、それぞれの音の違いを感じてみよう。**

基本とする音

（教P.62 運指表参照）

* 1. **「アーティキュレーション」（教P.63）を読み、①スタッカート奏法、②ノン・レガート奏法、③ポルタート奏法、④レガート奏法の４つの奏法で演奏しよう。**

難しいと感じる奏法は、繰り返し練習しよう。

（各2点＝10点）

|  |  |
| --- | --- |
| **ア** |  |
| **イ** |  |
| **ウ** |  |
| **エ** |  |
| **オ** |  |

（各2点＝４点）

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

（各2点＝6点）

|  |  |
| --- | --- |
| **ア** |  |
| **イ** |  |
| **ウ** |  |

視聴や演奏をしたら、○で囲もう。

（各4点＝28点）

|  |  |
| --- | --- |
| **1)** | 奏法の動画視聴 |
| **2)** | 「tu」のタンギング |
| 「du」のタンギング |
| **3)** | ①スタッカート奏法 |
| ②ノン・レガート奏法 |
| ③ポルタート奏法 |
| ④レガート奏法 |

リコーダーは、（ ア ）各地で古くから演奏されており、16世紀頃には、独奏や（ イ ）、歌や踊りの（ ウ ）などで盛んに用いられるようになった。17世紀の後半には現在のようなジョイント（継ぎ目）のある形に改良され、（ エ ）の調整が可能となり（ オ ）も広がった。

サミングとは、左手親指の先で（ ア ）にわずかに（ イ ）をつくる運指のことで、（ ウ ）を演奏する際に用いる。サミングには、親指を少し曲げて（ イ ）をつくる方法と、親指を下へずらす方法がある。





1. **《天国と地獄》（教P.64）を演奏しよう。**
   1. **次の文章を完成させよう。［知］**
   2. **学習した奏法などを生かし、曲の特徴を生かして演奏しよう。［技／思・判・表／主］**

二次元コードのピアノ伴奏に合わせて演奏しよう（テンポ設定は変更可能）。

難しいと感じる箇所は、部分的に繰り返し練習しよう。

設問3)に回答後、ピアノ伴奏に合わせてまとめの演奏をして、音源や動画を提出しよう。

* 1. **演奏するときに気を付けたことや工夫したこと、その理由を書こう。［技／思・判・表／主］**

1. **《C-a-f-f-e-e》（教P.64）を演奏しよう。**
2. **次の文章を完成させよう。［知］**
3. **学習した奏法などを生かし、曲の特徴を生かして演奏しよう。［技／思・判・表／主］**

二次元コードのパート演奏に合わせて演奏しよう（テンポ設定は変更可能）。

まずは「１声での演奏」、次に「2声での演奏」に合わせて、演奏しよう。

難しいと感じる箇所は、部分的に繰り返し練習しよう。

設問3)に回答後、どちらかのパート演奏に合わせてまとめの演奏をして、音源や動画を提出しよう。

1. **演奏するときに気を付けたことや工夫したこと、その理由を書こう。［技／思・判・表／主］**

（各2点＝6点）

|  |  |
| --- | --- |
| **ア** |  |
| **イ** |  |
| **ウ** |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | （10点） |

日本で《天国と地獄》のタイトルで知られている旋律は、（ ア ）が作曲したオペレッタ《（ イ ）》の序曲からのものである。この旋律は、**サン＝サーンス**作曲の組曲《動物の謝肉祭》の第４曲〈（ ウ ）〉に用いられている。

|  |
| --- |
| （10点） |
|  |

（各2点＝6点）

|  |  |
| --- | --- |
| **ア** |  |
| **イ** |  |
| **ウ** |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | （10点） |

《C-a-f-f-e-e》は、（ ア ）の作曲で、”Caffee”のつづりをそのまま音名に見立てた「ド・（ イ ）・ファ・ファ・ミ・ミ」で始まる。「コーヒー・（ ウ ）」という愛称でも知られる。

|  |
| --- |
| （10点） |
|  |